

授業概要

『十八史略』は、その名が示す通り十八の中国王朝史のダイジェストである。日本でも初学の必読書として江戸時代の藩校や寺子屋の教材として用いられてきた。本講座は、現在も高校教科書で取り上げられる有名な箇所を取り上げて精読した後、『史記』『三国志』などの該当箇所と比較する。白文のままの原典に触れながら『十八史略』との表現の違いを明らかにし、漢文のレトリックについても講義する。

授業計画

第 1 回	ガイダンスー『十八史略』と『史記』についてー
第 2 回	先従隗始ー史記（燕世家）ー
第 3 回	完璧ー史記（廉頗藺相如列伝）ー
第 4 回	管鮑之交ー史記（管晏列伝）ー
第 5 回	鶏鳴狗盗ー史記（孟嘗君列伝）ー
第 6 回	鶏口牛後ー蘇秦列伝ー
第 7 回	刺客荊軻①ー刺客列伝ー
第 8 回	刺客荊軻②ー刺客列伝ー
第 9 回	曲学阿世ー資治通鑑ー
第 10 回	乱世之姦雄ー三国志・魏志ー
第 11 回	股肱之力ー三国志・蜀志ー
第 12 回	赤壁之戦ー三国志・呉志ー
第 13 回	出師表一文選ー
第 14 回	死諸葛走生仲達ー資治通鑑ー
第 15 回	創業守成ー唐書ー
第 16 回	学期末試験

到達目標

- ・漢文の句法を説明できる。
- ・二つのテキストの表現の違いから、その本の特徴や作者の意図を推測できる。
- ・白文（返り点のない文章）に触れ、大筋を把握できる。

履修上の注意

授業は毎回配布するプリントを中心に行うため、授業中のメモや記述が必要となる。授業中にフォームによる出欠確認とオンラインによるリアクションペーパーを行う。また、作業をしながら講読するため、蛍光ペンなど鉛筆（黒）以外のマーカーを持参すること。

予習・復習

授業後のリアクションコメントでその回の講義内容を振り返ること。プリントはきちんと管理して学期末試験に備えること。

評価方法

学期末試験 70%、受講態度やリアクションコメントの内容 30%

テキスト

- ・教科書名：
- ・著者名：
- ・出版社名：
- ・出版年（ISBN）：